

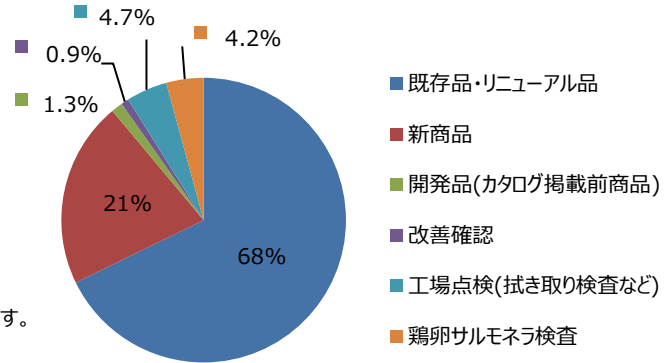
2023年度検査結果(4月～11月累計)

微生物検査

一般生菌、大腸菌群、大腸菌、真菌等の衛生指標菌および、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ、セレウス等の食中毒菌を検査し、食品の腐敗・変敗、食中毒を防止するとともに、食品製造現場における衛生管理向上に役立っています。

検査対象品	検体数
既存品・リニューアル品	3,162
新商品	987
開発品(カタログ掲載前商品)	61
改善確認	40
工場点検(拭き取り検査など)	218
鶏卵サルモネラ検査	198
合計	4,666

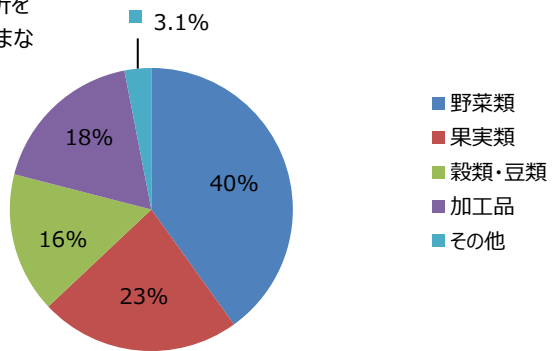
※鶏卵サルモネラ検査は、卵殻と卵内容について外部委託機関にて実施しています。年に4回、全産地・全種類のたまごを対象に行っています。



残留薬剤検査

人や環境に対する毒性の強い農薬等の化学物質403成分について、一斉分析を行っています。産地での使用状況、残留事例、農薬の流通量等、その他さまざまな情報を参考に、検査する薬剤を決めています。

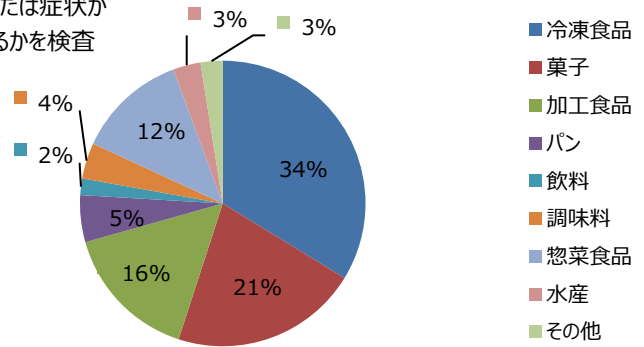
検査分類	検体数	検査成分数
産直品		
野菜類	105	41,676
果実類	60	23,851
穀類・豆類	42	16,569
加工品	47	18,528
その他	8	3,170
合計	262	103,794



アレルギー検査

加工品について、食物アレルギーを引き起こす物質のうち、症例が多いまたは症状が重篤な卵・乳・小麦・そば・落花生・甲殻類(えび・かに)が含まれているかを検査し、原材料表示およびコンタミ表示の適正確認をしています。

検査商品分類	検体数	検査商品分類	検体数
冷凍食品	108	調味料	13
菓子	68	惣菜食品	40
加工食品	50	水産	10
パン	17	その他	8
飲料	6		
合計			320



その他の検査

	鶏卵	ヒスタミン	食品添加物	動物薬	重金属	一般成分	米品種	GMO	産地判別	合計
検体数	264	26	12	11	16	10	15	9	2	365
検査項目数	1,320	26	22	407	16	20	15	9	2	1,837

※鶏卵検査、ヒスタミン検査、食品添加物検査の一部は商品検査センターにて検査を実施。その他の検査は外部委託機関にて検査を実施。

- **鶏卵検査**：卵重、卵殻強度、卵殻厚、卵黄色、鮮度の指標となるハウユニット(卵白高)を測定することで品質管理を行っています。1ヶ月に1度の頻度で全産地・全種類のたまごを対象に行っています。
- **ヒスタミン検査**：生魚(鮮魚、冷凍魚肉)や、その加工品のヒスタミン濃度を測定して品質管理を行っています。夏場を中心にサバ、カジキ、マグロ等について実施しています。
- **食品添加物検査**：保存料、発色剤などの添加物について、パルシステム基準を逸脱した使用がないかを確認しています。
- **動物薬検査**：動物用医薬品や飼料添加物について残留の有無を確認します。たまご・肉類について実施しています。
- **重金属検査**：米のカドミウム検査を実施しています。玄米段階での抜き取り検査で基準を逸脱していないかを確認しています。
- **一般成分検査**：油脂の劣化を評価するために指標となる「酸価」「過酸化価」を測定します。油脂で処理した食品や油脂分を多く含む食品(主に菓子類)について実施しています。
- **米品種確認検査(米DNA検査)**：米について、他品種の混入の有無があるかの検査を行い、表示の適正確認を実施しています。
- **GMO検査(遺伝子組換え体含有検査)**：遺伝子組換え作物の混入の有無を検査します。不使用表示をしている商品の原料について実施しています。
- **産地判別検査**：タケノコについて検査し、産地表示の適正確認をしています。